

平成31年 3月31日

西条市長 玉井 敏久 殿

議員名 真鍋 顕伸

平成30年度政務活動費収支報告書

西条市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第6条の規定により、下記のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

- 1 収入(政務活動費) 180,000 円
- 2 支出 180,000 円

内訳

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
研究研修費		
調査旅費	173,672	視察研修旅費(3回)
資料作成費		
資料購入費	6,328	自治体情報誌
広報費		
広聴費		
事務費		
その他の経費		
合 計	180,000	

- 3 残額 0円





注 備考欄には、主たる支出を記入してください。

この報告書には、支出が明らかな領収書等の証拠書類を添付してください。


支 出 伺

平成30年8月29日

本書金額を、政務活動費より支出してよろしいか。

代表者印	経理責任者印	請求者 真鍋 顕伸
		
平成 30 年度		
科 目	<input type="checkbox"/> 研究研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の経費	<input checked="" type="checkbox"/> 調査旅費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費
金 額	42,640円	
対象者氏名	無会派 1名 真鍋 顕伸	
支出内訳	1. 調査機関 平成30年8月30日(木)～8月31日(金) 2日間 2. 調査場所 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市) 3. 調査人員 1名 4. 別紙「旅程予定表」を参照 5. 予算支出額 (1) 調査旅費 42,640円 6. 政務活動費から支出する金額 42,640円	
支出年月日	平成30年8月31日	
金銭出納簿 記載済印	真鍋 顕伸 	

※ 領収書は、裏面に貼付すること。

決裁・付印 	副課長	副課長	指示内容 出張報告書
	課長	課長	

出張報告書

平成 30年 9月 3日

西条市議会議長 児玉千春 殿

出張者 真鍋 顕伸 

政務活動費による出張の概要を、下記のとおり報告します。





記

出張先	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研究所(滋賀県大津市)
出張期間	平成 30 年 8 月 30 日 ～ 平成 30 年 8 月 31 日 2日間
出張用務	「平成30年度市町村議会議員研修(2日間コース)自治体予算を考える」受講
概要報告	<p>○全国市町村国際文化研究所(JIAM) 「自治体予算を考える」 自治体予算の原則から歳入・歳出予算の基礎とチェックポイント、財政の診断、今後の財政運営について、講師による説明とグループ討議による、他の議員の方の考えを学んだ。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体予算の原則 ・歳入予算の基礎とそのチェックポイント ・歳出予算の基礎とそのチェックポイント ・財政の現状把握と今後の財政運営方針 ・演習／意見交換 <p><所感> 議員の議決権に予算及び決算の審議は、重要項目である。 市民の代表者としてのチェック機能として、その審議をより深く理解することにより、直近の予算・決算審議、そして将来の当市の財政がどのような推移を示すかを考察できる知識の基礎を学べた。 今後、有益な予算分配、無駄のない予算執行(決算)、将来の財政のポイントとなる地方債などに、様々な方向からのチェックができるように、これからも知識の習得に努める。</p>

支 出 伺

平成30年11月12日

本書金額を、政務活動費より支出してよろしいか。

代表者印	経理責任者印	請求者 真鍋 顕伸	
			
平成 30 年度			
科 目	<input type="checkbox"/> 研究研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の経費	<input checked="" type="checkbox"/> 調査旅費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費	
金 額	52,862円		
対象者氏名	無会派 1名 真鍋 顕伸		
支出内訳	1. 調査機関 平成30年11月13日(火)～11月15日(木) 3日間 2. 調査場所 鳥取県米子市、島根県益田市 3. 調査人員 1名 4. 別紙「旅程予定表」を参照 5. 予算支出額 (1) 調査旅費 : 34,000円—① バス借上料 : 18,862円—② 合計(①+②) : 52,862円 6. 政務活動費から支出する金額 52,862円		
支出年月日	平成30年11月15日		
金銭出納簿 記載済印	真鍋 顕伸 		

※ 領収書は、裏面に貼付すること。

領 収 証

No. [Redacted]

西条市議会
会派等合同 政務活動視察研修会様

平成30年11月26日

金 額	2	8	2	9	3	0	-
	千		円				

但し 貸切バス代

上記の金額正に受領致しました



ときめきバスツアー好評募集中!

現金
小切手
振込



愛媛バス株式会社

本社
〒799-1302 愛媛県西条市楠
TEL (0898) 66-030
FAX (0898) 66-030

取扱者 [Redacted]

貸切バス代

$$282,930円 \div 15名 = 18,862円$$

西条自民クラブ	@18,862	×6名=	113,172円
西条市民クラブ	@18,862	×4名=	75,448円
公明党西条市議団	@18,862	×2名=	37,724円
高橋 章哲 議員			18,862円
御荘 秀樹 議員			18,862円
真鍋 顕伸 議員			18,862円

原本は、西条自民クラブ政務活動費関係書類内に添付

課長	副課長
指示内容	出張報告書
文書分類	

出張報告書

平成 30年 11月 30日

西条市議会議長 児玉千春 殿

出張者 真鍋 顕伸

政務活動費による出張の概要を、下記のとおり報告します。

記

出張先	米子市役所(鳥取県米子市)・浜田市役所(鳥根県浜田市)
出張期間	平成 30 年 11 月 13 日 ～ 平成 30 年 11 月 15 日 3日間
出張用務	会派等合同研修(真鍋顕伸、御荘秀樹、高橋章哲、西条自民クラブ、西条市民クラブ、公明党西条市議団)
概要報告	<p>○米子市役所 「鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクトにおける米子市の役割について」 鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクトとして、13の自治体(県・市・町・村)が参画され平成28年度から5か年の事業を実施されている。 【参画自治体】 鳥取県、米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、江府町、倉吉市、三朝町、琴浦町 また、他にも広域観光が組織されている。 ・山陰インバウンド機構(鳥取県、鳥根県) ・中海・宍道湖・大山圏インバウンド機構(米子市、境港市、安来市、出雲市、松江市) ・大山山麓・日野川流域広域連携観光組織体(仮) (米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、江府町) 【主要事業】 ・大山開山1300年祭 ・DMOIによる稼ぐ力の創出事業</p> <p><所感> 鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクトは、当市の当市のソラヤマいしづちと共通点が多い。観光資源として大山山麓と石鎚山系、広域的な自治体での取り組み、自然の活用として緑や水、そして稼ぐ力として観光と食の強化である。 今後、ソラヤマいしづちは、第三セクターとして売り上げと利益を確保する企業体を運営していく中で、今回の鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクトを先進例として、当市の担当部署にも提言する。</p> <p>○浜田市役所「遊休農地の活用について」 この遊休地は、鳥根県畜産開発事業団の牧場跡地を新開団地として、浜田市が取得・整備し、民間事業者へ貸出し、30haの遊休地が耕作地となっている。栽培品も有機野菜、ブドウ、イチゴ、ブルーベリーと多岐にわたり、観光農園としての集客も実現できている。平成22年に開発を終了し、8年を経過しており、民間事業者の経営も安定していると思われる。この成功をきっかけに、新たに元谷団地 30haの整備を実施中である。</p> <p><所感> 当市の耕作放棄地も市単独事業と子にの事業を合わせて、9年間で延べ28.8haを再生してきている。しかし、現在でも101haの耕作放棄地が年々増加をしている。 今回の浜田市新開団地は、大規模一括整備ができる土地がから実現しているが、当市においても耕作放棄地、遊休農地を集約する政策を実施し、大規模に活用する事を担当部署にも提言する。</p>

支 出 伺

平成31年2月12日

本書金額を、政務活動費より支出してよろしいか。

代 表 者 印	経 理 責 任 者 印
[Redacted]	[Redacted]

請求者 真鍋 顕伸



平成 30 年度

科 目	<input type="checkbox"/> 研究研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 広 報 費 <input type="checkbox"/> 人 件 費 <input type="checkbox"/> その他の経費	<input checked="" type="checkbox"/> 調 査 旅 費 <input type="checkbox"/> 資 料 購 入 費 <input type="checkbox"/> 広 聴 費 <input type="checkbox"/> 事 務 費
金 額	78,170 円	
対象者氏名	無会派 1名 真鍋 顕伸	
支出内訳	1. 調査機関 平成31年2月13日(水)～2月15日(金) 3日間 2. 調査場所 広島県安芸郡府中町、福岡県福岡市、熊本県熊本市 3. 調査人員 1名 4. 別紙「旅程予定表」を参照 5. 予算支出額 (1) 調査旅費 : 78,170円 6. 政務活動費から支出する金額 78,170円	
支出年月日	平成31年2月15日	
金銭出納簿 記載済印	真鍋 顕伸 [Redacted]	

※ 領収書は、裏面に貼付すること。

市長	副市長	副課長	係長
[Redacted]		[Redacted]	
決裁年月	所管	指示内容	
合議・供関先	出張報告書		
[Redacted]			

平成 31年 3月 27日

西条市議会議長 行元 博 殿

出張者 真鍋 顕伸

政務活動費による出張の概要を、下記のとおり報告します。

記

出張先	<ul style="list-style-type: none"> ・府中町議会(広島県安芸郡府中町) ・福岡地区水道企業団 道の中道奈多 海水淡水化センター(福岡県福岡市) ・熊本県議会(熊本県熊本市)
出張期間	平成 31 年 2 月 13 日 ～ 平成 31 年 2 月 15 日 3日間
出張用務	無会派合同研修(真鍋顕伸、御荘秀樹、高橋章哲)
概要報告	<p>○府中町議会 「プラチナ保育手当制度について」「ファミリーサポートセンターの活動について」 プラチナ保育手当制度については、出生後6週間から3歳となる年度末までを対象に児童の2親等以上の直系尊属(主に祖父母)が保育した場合に、手当月額1万5千円を支給する事業である。 平成29年から実施しており、対象者26人であり、利用者の声として同居のきっかけなど、好評な評価を受けている。 ファミリーサポートセンターの活動については、シルバー人材センターへの事業委託をしており、高齢者の子育て経験を活かしている。 平成15年から事業を継続しており、依頼側と受託側の会員数も増加している。 サポート実績は、平成27度 498件、平成28年度 287件、平成29年度 217件と減少傾向にあるが、要因としては保護者の残業の減少による保育所・幼稚園の迎が減少しており、生活スタイルの変化も実績から伺えられた。</p> <p><所感> 当市の保育の待機児童は発生していないが、高齢者の働く場、生き甲斐の場として提供できる事は、非常にプラスの側面が大きい。 その反面、ファミリーサポートでは事故発生や、依頼側と受託側のアンマッチ時などが懸念される。プラチナ保育手当については、町内に限定されるために公平性という観点を留意する必要がある。当市にて、既存の子育て支援や新設された子育て支援センター(ここてらす こまつ)の事業による声を更に集めて今後の提言を図る。</p> <p>○福岡地区水道企業 道の中道奈多 海水淡水化センター 「海水淡水化センターについて」 過去の大渇水を受け、福岡都市圏(17市町に約250万人)の日量62万トンの確保に向けて、ダム開発などの長期対策の一方で、短期的に水道水を確保するために、日量最大 5万トンを平成17年度から供用を開始している。造水コストは、生産水量に影響され200から400円/トンド、天候などの水事情により幅が大きい。</p> <p><所感> 供用開始から一般市民への取水制限などは発生しておらず、水道料金は、一般家庭用口径13mm 20m3にて2203円と高額でなく、水道事業全体の中でうまく活用されている。 また、再生水を別系統にて有効活用もされ、多種の水源と使用用途に合わせて合理的に水利用がされている。 現在、当市において松山分水の提案を受けているが、このような施設の活用を提案できる知識の習得ができた。</p>

第 号
31. 3. 27
議会事務局

概要報告

○熊本県議会

「くまもとグリーン農業について」

豊かな地下水源と肥沃な土の恩恵で国内有数の農業県、熊本県として、未来に引き継いでいく事と安全で安心な食料を安定して生産する力が、将来にわたって確保されるようにグリーン農業が開始された。平成2年から取り組みを始め、国の政策に合わせて変化をしながら、平成23年から現在に至っている。

具体的には、国が定めるグリーン農業制度に、熊本県独自の基準を追加して、グリーン農業の取り組みを6段階に区分し、表示マークにより分かり易く識別できるようにしている。また、消費者側や企業も応援宣言の制度があり、生産者と消費者の両方の意識づけが図られている。

実績として、生産者宣言は、販売農家戸数の1/2にあたる20,052 達成率104%、応援宣言は、30,000 達成率92%と良好である。

<所感>

このグリーン農業の取り組みが、現在の地下水の水質データには、直接現れていない報告であったが、今後も継続し、長期的に推移を確認していく取り組みに共感できた。

問題点として、農産品に各段階別に表示マークを付けて販売もしているが、グリーン農業として手間をかけても、農産品の価格が上がらないこと、果樹や施設野菜は、グリーン農業が難しいことが挙げられる。

当市においても、丹原地区は果樹の産地であり、地下水の硝酸態窒素の問題がある。

また、販売においても産直市場への多様な生産者間での価格競争がある。

地下水や食の安全・安心などの環境と農業生産性という相反する課題に、生産者のみならず消費者の理解を得られる事業の提言を図る。

支 出 伺


平成31年3月20日

本書金額を、政務活動費より支出してよろしいか。

代 表 者 印	経 理 責 任 者 印
	

請求者 真鍋 顕伸 

平成 30 年度

科 目	<input type="checkbox"/> 研究研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 広 報 費 <input type="checkbox"/> 人 件 費 <input type="checkbox"/> その他の経費	<input type="checkbox"/> 調 査 旅 費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広 聴 費 <input type="checkbox"/> 事 務 費
金 額	6,328円	
対象者氏名	無会派 1名 真鍋 顕伸	
支出内訳	1. 資料購入費 (1) 項目 :自治体情報誌[ディーファイル] 2018年7月下旬号 :2,430円 2018年9月上旬号 :2,430円 2018年9月下旬号 :2,430円 2018年10月上旬号 :2,430円 2018年10月下旬号 :2,430円 2018年11月上旬号 :2,430円 2018年11月下旬号 :2,430円 2018年12月上旬号 :2,430円 2018年12月下旬号 :2,430円 2019年1月号 :3,024円 2019年2月上旬号 :2,430円 購入数 :11部数 金額 :27,324円 税込金額 :27,324円 2. 政務調査費から支出する金額 6,328円	
支出年月日	平成31年3月25日	
金銭出納簿 記載済印	真鍋 顕伸 	

※ 領収書は、裏面に貼付すること。

No. _____

領収証

西条市議会 真鍋 顕伸 様

金額

¥27,324

但自治体情報誌デーファイ 11冊分記代として

2019年 3月 25日 上記正に領収いたしました

内 訳

消費税額等(%)

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

イマジン出版株式会社

代表取締役

